

米国における人種差別とアスリートの主張に関する 研究

氏名：阿部佑亮

要旨

米国内で発生している人種差別問題の要因とそれが与える影響はどのようなものがあるのだろうか。また、国民からの関心が高いスポーツ界のアスリートらはその問題や事実に対してどのように主張し改善を求めているのだろうか。本研究における人種差別問題やアスリートの主張は、時代を限定し近年に発生したものを対象とした。主な調査方法はWEBを使用し、メディアの記事や先行研究の調査結果などを収集した。人種差別が起こる要因には、根強い文化や宗教などが関連しており、構造的な人種差別と呼ばれる目に見えない差別問題が対象者を苦しめている事が分かった。これに対しアスリートらは、政治的反発を受けながらも発言する重要性をSNSや試合を等して表現し、Black lives matter運動と呼ばれる多くの若者の支持を集めた。多様性の認知が拡大している近年において、アスリートは改善を求め戦っている。